

西暦	元号	一言年報	岩村藩の動き	日本の動き	世界の動き
1772	安永元 10月20日卯の朔 午前6時頃		岩村藩の藩老佐藤信由の二男として江戸浪井町（現東京都中央区区形町一丁目あたり）の岩村藩邸に生まれる。幼名は信行、通称は豊久蔵。字名は大進。一筆は号。他に雲日楼、老吾軒、江都などの号がある。	10代将軍徳川家治のとき、田沼意次が老中になる	オーストリア、プロシア、ロシアがポーランドを分割
1775	安永4	4歳			(米) 独立戦争（～83）
1776	安永5	5歳			(米) 独立宣言
1782	天明元	10歳	藩主兼保（4代）（～1826）	天明の大飢饉（～87）	
1786	天明6	15歳	藩内大飢饉となり物価高騰	家治卒（50歳）	
1787	天明7	16歳	藩老佐藤文永就任	孝元11代将軍家下（15歳）松平定信老中になり、寛政の改革が始まる（～93）	
1789	寛政元（天明9）	18歳「古文孝経解義補疏」（生涯最初の著作）成る			(米) ワシントンが初代大統領となる（仏）フランス革命が起こり、人権宣言を発表する
1790	寛政2	19歳 出仕。第4代岩村藩主松平兼保の近侍となる。井上四明や藤原草堂に学ぶ。		5月「寛政異学の禁」を出す（道島聖堂での朱子学以外の異学を禁じる）	
1791	寛政3	20歳 就仕			
1792	寛政4	21歳 信行を母、通称の豊久蔵を捨棄と改める。藩主の公子松平衛（後の林述斎）に勧められ大坂で中井竹山に師事		ラックスマン（露）が蝦夷に来航	
1793	寛政5（2月）	22歳 2月林鶴順（信敬）に入門。4月 信敬就	松平兼保が林家の養子となり、第8代大学頭になる（林述斎：26歳）	定信老中辞職（就任）	
1797	寛政9	26歳 結婚 父文永の古希の祝い （寄書「名流清奇」）			
1800	寛政12	29歳 平戸藩主松浦静山の懸請により長崎へ赴く		昌平学校開所なる伊能忠敬、蝦夷地の測量へ向かう	
1804	文化元	33歳 妻某（30歳）没		レゾノフ（露）長崎に来航	(仏) ナポレオンが皇帝になる
1805	文化2	34歳 林家の塾長となる（大学頭林述斎とコンビを組む）			
1810	文化7	39歳	松平兼保 大坂城代から西の丸老中に栄進		
1811	文化8	40歳 『抄録』（ちよこ）日録）作			
1813	文化10	42歳 「言志録」着手			
1814	文化11	43歳 父、文永（87歳）没		伊能忠敬沿海測量	ワーン会議（～15）
1816	文化13	45歳 母 田（77歳）没			
1821	文政4（8月下旬）	50歳 先祖の墓や通称を上告知（現美濃市）、壽樹書院、京都などに訪ね、帰途岩村に立ち寄り、姉と密会、天瀑山に登り「天瀑山に登るの詩」を賦す			
1824	文政7	53歳 「言志録」刊行		(文政8) 真田勤王打倒	
1826	文政9	55歳 岩村藩老田の列に加えられる。「重職心得啓蒙」 「御心得尚存書」を著す。 「岩村神主宗式御書」を著す。	松平兼保第5代藩主となる（～1842） 丹羽潔清佐衛門家老となり、藩政改革に着手		
1828	文政11	57歳 「言志録」に着手	橋本祐三郎死す（文政10）	西郷隆盛生誕（文政10）	
1830	文政13（天保元）	59歳 「安日楼文詩」「言志録」を伊勢守宮（宮崎文庫）へ奉納			(仏) 七月革命
1832	天保3	61歳 「知学録」著す	天保の大飢饉始まる	額山藩（53歳）没	
1833	天保4	62歳 河田地番を学問上の親子に迎える （八女の姉を娶らす） 「島津密書閣外書」成る			
1834	天保5	63歳	江戸の岩村藩御殿焼		
1836	天保7	65歳	岩村藩内飢饉 農民暴動		
1837	天保8	66歳 林述斎の古希を祝う	天保改革失敗 丹羽潔清左衛門失脚	大塩平八郎の乱（2月）徳川家斉将軍職を辞す（大御所時代の始まり）徳川家慶12代将軍となる	
1838	天保9	67歳 「言志録」脱稿。「言志録」着手			
1839	天保10	68歳 「近思録閣外書」成る		「家社の顔」おこる	
1840	天保11	69歳 「兵子御説」成る 「俗間笑録」作			アヘン戦争（～42）
1842	天保13	71歳 12代将軍家慶に島嶼を講義（4月） 「孫子御説」成る 「安日楼文詩」「言志録」などを将軍に奉る（9月）			
1844	弘化元	73歳		西郷（18歳） 那方書役始となる（27歳まで、薩摩藩の農政に従事）	
1849	嘉永2	78歳 「言志録」脱稿			
1850	嘉永3	79歳 「言志録」、 「言志録」を刊行			(独) プロシア憲法制定
1851	嘉永4	80歳 「言志録」着手		西郷（25歳） 島津齊彬、薩摩藩主となる	
1852	嘉永5	81歳 妻 田（74歳）没			
1853	嘉永6	82歳 ベリー（米）の来航に合わせて、国交文書を作成 「言志録」脱稿		ベリー（米）が浦賀に来る（6月） 12代将軍 家慶卒（6月） 徳川家定13代将軍となる（11月）	
1854	嘉永7	83歳 「言志録」を刊行	平尾篤（後の下田歌子）誕生	日米和親条約を結ぶ	
1854	嘉永7	84歳 国交開港の功により幕府より表彰		江戸大地震 （幕田東海被災死亡）	
1856	安政3	85歳	藩主兼保（7代）（～1869）	幕府 正室として大奥入り	
1858	安政5	87歳	北海道の領有権を主張する為、革命により新設機を始める	伊予直野が大老になる 13代将軍家定・島津齊彬没（7月） 徳川家茂14代将軍となる（10月） 日米修好通商条約を結ぶ 幕府 藩制し「天保院」と名乗る 幕府（32歳）月照と共に錦江湾に身を投げ（11月）	イギリスがインドを植民地にする
1859	安政6 9/24 10/3	88歳 幕府側の官命で致 深慶寺（東京・港区六本木）に迎えられる。 歌号は「唯一院成誓大導師」河田通源54歳没（1月）	平尾信亨が上林清彦と連携し勤皇論を推進、曲められる。 藩政「知新録」焼失の為、殿町へ新築移転	横浜、長崎、新潟開港 安政の大飢饉（吉田松陰ら餓死） 幕府（33歳）奄美大島へ遠島（～1862、1.14）	アルジェニアによるイタリア統一戦争始まる
1860	万延元		三好学園生（1861：文久元）	幕府門外の宴	(米) リンカーン大統領となる
1862	文久2			幕府（36歳）徳之島へ配流（6月）（72日間） 沖永良部島へ収容（8月）	
1864	元治元			幕府（38歳）2月鹿児島開港	
1866	慶応2			幕府（40歳） 藩長向登補任	
1867	慶応3		再び勤皇論を唱え、知新館構成員を撃死	大政を奉還し、江戸幕府が滅びる	(米) アラスカを購入
1868	慶応4（明治元）			幕府（42歳）勝海舟と会見し江戸無血開城（4.11） 江戸を東京とする	
1873	明治6			幕府（47歳）	
1874	明治7			「狂騒曲」に敗れる	
1877	明治10			幕府（51歳） 「西南の役」参戦。 参月（9月24日）	
1888	明治21		秋月種樹（たねたつ）が「南洲手抄言志録」を出版 （明治17・18年頃、秋月種樹が西郷の叔父・榎原国幹の家で見つけたといわれる）		